

# 新型コロナウイルス感染症へのこれまでの対応

## 1. これまでの感染者数の推移

◆本県の最初の感染者は令和2年3月に壱岐市で確認され、第1波は3月から4月にかけて感染者数は17人であった。その後、夏休み・お盆、年末年始、春休みからゴールデンウィークの時期に感染が拡大し、直近の第5波もお盆をはさんで感染のピークを迎えた。

◆これまでの感染者数は、累計で6,125人(令和3年12月末時点)

第1波	令和2年3月～4月	感染者数	17人	
第2波	令和2年7月～8月	感染者数	214人	
第3波	令和2年12月～3年2月	感染者数	1,341人	
第4波	令和3年4月～6月	感染者数	1,551人	【アルファ株】
第5波	令和3年7月～9月	感染者数	2,798人	【デルタ株】

## 2. 感染者数の抑制

◆疫学調査内容を個々に分析し、感染要因を把握した上で実態に即した実効性の高い対策を講じるとともに、人流や他県の感染拡大の状況等から今後を予測し、感染が拡大する前に他県に先んじて集中的な対策の実施に努めてきた。(GW期間中の緊急要請、お盆前後の緊急要請)

◆また、幅広い県民・事業者の皆様方に具体的な行動に繋げてもらうため、約50回に及ぶ臨時記者会見(知事)のほか、新聞やテレビ、WEB広告、SNSなど特徴の異なる様々な広報媒体を組み合わせ、幅広い世代への情報発信に取り組んできた。

◆こうした取組の結果、人口あたりの感染者数は全国で低い方から12位であり、九州・沖縄の中で最も低く抑えることができた。

	第3波 (R2.12~2月)		第4波 (4~6月)		第5波 (7~9月)		第1波~R3.12月末累計	
	感染者数	/10万人	感染者数	/10万人	感染者数	/10万人	感染者数	/10万人
福岡	12,234	239.7	16,537	324.0	38,401	752.4	74,785	1,465.2
佐賀	748	91.8	1,372	168.3	3,198	392.4	5,873	720.6
長崎	1,341	4位 101.1	1,551	3位 116.9	2,798	1位 210.9	6,125	1位 461.6
熊本	2,420	138.4	2,979	170.4	7,798	446.1	14,395	823.5
大分	998	87.9	2,183	192.3	4,604	405.6	8,187	721.3
宮崎	1,445	134.7	1,125	104.8	3,029	282.3	6,130	572.1
鹿児島	1,132	70.7	1,848	115.4	5,378	335.7	9,122	569.4
沖縄	3,872	266.5	11,330	779.8	28,831	1,984.2	50,712	3,490.2
平均	-	141.3	-	246.5	-	601.2	-	1,103.0

(本県調べ)

## 3. 医療体制の確保

◆感染症に関する全国有数の研究拠点である長崎大学や、県医師会などの関係団体、医療機関等と緊密に連携し、感染者が病状に応じて安心して療養できるよう、必要な入院病床や宿泊療養施設を確保するなど医療提供体制の充実・強化及び保健所機能の強化に努めてきた。

【病床】最大確保病床数 R3年12月561床(全国17位) ※人口10万人当たり

【宿泊療養施設】最大確保室数(本県調べ) R3年12月920室(全国13位) ※人口10万人当たり

◆感染予防・拡大防止対策として「受診・相談センター」を開設して、受診に迷う方等の相談に24時間365日対応するとともに、423の医療機関を「診療・検査医療機関」に指定して、身近な地域で受診・検査ができる体制を整備した。(5,712件/日)

## 4. ワクチン接種の促進

- ◆新型コロナウイルスへの感染防止や重症化予防等に向けて、県民へのワクチン接種が急がれる中、更なる接種機会を提供して接種を加速化するため、令和3年6月12日から11月23日まで、長崎地区及び佐世保・県北地区に「長崎県コロナワクチン接種センター」を設置した。9月頃には本県の接種率(2回目接種完了者)が全国上位(4位)に位置するなど、ワクチン接種が大きく進展した。
- ◆設置期間中、長崎地区及び佐世保・県北の両会場で、1回目と2回目を合わせて105,171回の接種を行ったが、これは、県民の総接種回数(2,098,419回:令和3年12月12日時点)の5.0%に相当する。

### 【接種実績】

	1回目接種	2回目接種	合計
長崎会場 (R3.6.12~11.23)	37,358回	36,854回	74,212回
県北会場[吉井] (R3.6.12~8.6)	7,726回	7,513回	15,239回
佐世保会場 (R3.8.13~11.23)	7,803回	7,917回	15,720回
合計	52,887回	52,284回	105,171回

[本県の接種率(全人口比:R3.12.26時点)] 1回目終了:79.4% 2回目終了:78.2%

[全国の接種率(全人口比:R3.12.26時点)] 1回目終了:79.2% 2回目終了:77.8%

## 5. 中小企業者への支援

- ◆経営環境が悪化した中小企業者に対して、資金繰り支援のほか、雇用調整助成金の上乗せ支援、事業継続支援給付金、新しい生活様式対応支援補助金など、事業継続のための様々な支援を実施した。

・緊急資金繰り支援資金	10,913件	166,507百万円
・雇用調整助成金の上乗せ支援実績	1,949件	133百万円
・長崎県事業継続支援給付金	16,981件	1,513百万円
・新しい生活様式対応支援補助金	21,321件	2,365百万円

- ◆社会経済活動の回復・拡大を見据え、製造業については、半導体、航空機などの成長分野における新たな投資等に対する支援を行ったほか、サービス業については、新分野展開や業種転換などの取り組みに対する支援を実施した。

・成長産業ネクストステージ投資促進補助金	167件	29.5億円
・サービス産業事業再構築補助金	105件	1億円

- ◆このような支援の結果、県内企業の倒産件数は、例年と同程度で推移しており、また、有効求人倍率は直近の10月まで9ヶ月連続で1.0を上回るなど、事業継続や雇用の維持に一定の効果があったものと考えられる。

### 【倒産件数の推移】

年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3※
倒産件数	76	49	64	40	39	31	47	38	41	36

(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ長崎支店調 ※R3は10月末現在)

### 【有効求人倍率の推移】

令和2年度	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10
0.95	0.98	1.00	1.04	1.04	1.04	1.03	1.07	1.06	1.08	1.09

## 6. 観光産業への支援

◆令和2年6月に全国に先駆けて宿泊割引キャンペーンを実施して以降、計4回のキャンペーンを実施し、県内観光産業の回復を支援した。

- ・“ふるさと再発見”の旅（県民向け）
- ・ながさき“癒し旅”（全国向け）
- ・第1弾ふるさとで“心呼吸”の旅（県民向け）
- ・第2弾ふるさとで“心呼吸”の旅（県民向け、R3.12.15から隣県へ対象拡大）

【利用実績】 約65万人泊、観光消費額（推計）168億円

◆観光事業者の雇用の維持や個人旅行化などコロナ禍を経て変化する旅行者のニーズに対応するためのサービス向上などの受入態勢強化を目的として、長崎県独自の支援事業となる観光地受入態勢ステップアップ事業を2年にわたり実施した。

【雇用の維持が図られた人数】 約5,400人（353件、約14億円）

◆宿泊施設の感染拡大防止対策については、県内の宿泊事業者が実施する感染防止対策に要するサーモグラフィ等の購入や、ワーケーションスペースの設置等の前向き投資など、ウィズコロナ、アフターコロナの安全安心な旅行のための受入態勢整備への支援を2年にわたり実施した。

【支援実績】 約810件

## 7. その他産業への支援

◆そのほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている各産業に幅広く支援を行った。

### 【農林業】

- ・長崎和牛、茶等の消費拡大のため、県内量販店の販売促進を支援
- ・駅、港、庁舎、小学校等への花の展示等を支援
- ・小学校でのアレンジメント教室、生花店での県産菊フェア開催等を支援
- ・国内外の販路回復・拡大、生産・販売にかかる機械等の導入を支援
- ・肉用牛生産者の経営体質強化に向けた取組（血液・飼料分析）を支援

### 【水産業】

- ・販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械等の導入を支援
- ・水産物の調整保管を行う生産者等に対し、保管料等の経費を支援
- ・県内外の量販店等での水産物の販売促進キャンペーン展開を支援
- ・水産加工品の商品開発、改良、オンライン商談会への出展等を支援
- ・漁業者の経営継続に向け、各種制度等の相談体制整備を支援

### 【物産販売】

- ・県産品のネット通販サイトでの割引や送料無料等を実施

### 【交通事業】

- ・感染防止対策等のための環境整備への支援（バス・タクシー・鉄軌道・航路・航空）
- ・公共交通事業者の事業継続を支援（バス・タクシー・鉄軌道・航路）
- ・一部生活路線バスや空港リムジンバス等及び県外高速バスの事業継続を支援（バス等）
- ・離島及び半島航路の事業継続を支援（航路）
- ・国が行う実証運行補助への上乗せ支援（バス・鉄軌道・航路・航空）
- ・長崎空港に発着する航空会社のプロモーション経費等を支援（航空）

## 8. Team NAGASAKI SAFETY による飲食店・宿泊施設の第三者認証の実施

◆県民や観光客が安心して本県の飲食店や宿泊施設を利用できるよう、各施設の感染防止対策を進めるため、令和3年6月から長崎大学が監修した認証基準による第三者認証制度を県内全域において展開。

◆県だけでなく、21市町、飲食・宿泊関係団体からなる実行委員会を組織し、連携して制度の普及拡大に取り組む独自の長崎方式により実施。

◆令和3年12月15日現在で3,230店の飲食店、596施設の宿泊施設を認証済み。

◆政府の行動制限緩和策の一環であるワクチン・検査パッケージの活用により、感染拡大期におけるさらなる経済活動の促進を実施。

## 9. コスタ・アトランチカへの対応

- ◆令和2年4月に発生したクルーズ船「コスタ・アトランチカ」での集団感染について、国や長崎大学の専門家をはじめとする関係機関との連携のもと、迅速なスクリーニング検査、コンテナハウスによる現場医療施設の設置、船内での感染拡大防止、乗組員の帰国支援等を行い、市中への二次感染を防ぎ、一人の死亡者も出さず、5月31日に長崎港を出港した。
- ◆対応にあたっては、TV会議によるクルーズ船内、DMAT現場指揮所、対策本部及び国のクラスター対策班等との緊密な連携、従来のPCR検査よりも迅速な検査が可能な蛍光LAMP法の導入、遠隔で乗組員の健康状態の把握と情報共有を行うスマートフォンアプリ(現:N-CHAT)の運用など新技術を積極的に活用。このときの経験は、本県の新型コロナウイルス感染症対策に活かされている。

【クルーズ船の乗務員数】623名、うち陽性者149名、死亡者なし

【スクリーニング検査】4月21日～24日の短期間で蛍光LAMP法により乗組員619名の検査を実施、うち147名の陽性を確認。